



プレミアム88
(高品質米)への重要ポイント
・・・収穫まで

今後の対策

未熟粒・乳白粒・胴割粒の発生を抑制するために

対策①

湛水管理+収穫間際までの水管理

- こまめな水管理により、根の機能防止と健全な登熟を維持
- 収穫間際まで水管理すること、胴割粒や白未熟粒など品質低下の発生を軽減
- 玄米の粒厚向上にも効果的

対策②
適期収穫

(出穂時期を確認し収穫期の計画を!!)

- 収穫の早期予測をすることで計画的な収穫準備ができ、刈遅れ防止に効果的
- 収穫適期を過ぎると、胴割粒、白未熟粒の割合が急増し、品質低下に繋がるので注意

栽培手引き裏表紙裏の「収穫適期判定シート」を活用下さい



『栽培の手引き』



裏表紙裏「収穫適期判定シート」



対策③

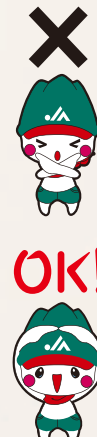
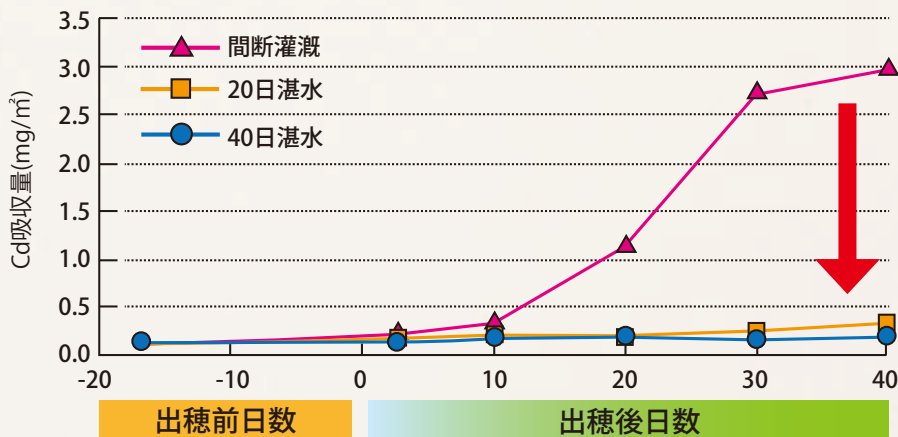
適正な乾燥調整をしましょう

◎胴割粒の被害防止対策

出穂後6~10日の気温が高いと胴割粒の発生割合が増加する傾向にあります!!

- ・最初十分に常温送風し加温、その後、毎時乾燥減速を0.8%以下に抑え、ゆっくり乾燥
- ・仕上げ水分15%の手前で1昼夜のテンパリング
- ・急激又は過度の乾燥、仕上げ水分に注意(14.5%~15.0%)

籾黄化率50%程度を確認してから約7日後で、上から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した、籾黄化率85%の頃が収穫適期です!!



出穂後の間断灌溉管理では、玄米カドミシムの吸収が高まります。常時、湛水管理(出穂後3週間)を継続実施して下さい。

出穂後の湛水管理も継続実施して下さい!!
出穂後3週間